

## 令和元年度の田作り ～前半のおさらい・自然観察編～

令和元年の小学校田んぼの田作り2回目の作業「草込み」を終えると程なく、長い梅雨が明け、8月に入ると気温は一気に上昇し、連日真夏日となりました。子どもたちが夏休みを謳歌している頃、稲たちにとっては自力でぐんぐん成長する季節を迎えます。今回は、前号までに十分に取り上げることができなかった、「前半の自然観察体験」をおさらいをしたいと思います。子どもたちの感じ取った谷津田の生き物の営みは、まさに、田んぼ息吹の一部！果たして次回に訪れる頃には、どのように変化していることでしょうか？

### 【小学校田んぼの自然観察】

小学校田んぼの稲作体験では、田作りの作業と並行して、田んぼ周囲に生息する生物や、植物を観察する「自然観察」が実施されます。自然観察では、3年前より「見つけた生き物の名前を自分でつけてみよう」との試みを取り入れ、子どもたちからユニークな命名と、多様な姿をした生物達が次々描き出されて参りました。

令和元年の自然観察はどんな様子だったかというところ。。。

### ・アイテムを駆使して共同作業

小学校田んぼから東へ少々離れた田んぼの周囲を巡り、そこに出現する生物を観察します。5人程度のグループを組み、各グループに採集アイテム（金ザル；泥中の生物をさらう）と、観察保持アイテム（樹脂バット；捕まえた生物を移し保持・観察する）、記録アイテム（耐水紙野帳；色々と思いたこと、命名などを記載）が手渡されます。グループメンバーは、協力しながら、アイテムを駆使し、観察ミッション（生物を捕獲、観察し、命名する。。）を遂行するのである。そこには、苦労と感動があった！



○捕まえるのも一苦労！  
 友達と協力して、生き物を追い込んで捕まえる。。。といった工夫と苦労が多く語られました。



○命名も一苦労？  
 友達と感じ方や表現が異なると、議論になることも！相談の結果、意外な珍名が飛び出すこともあったようです。



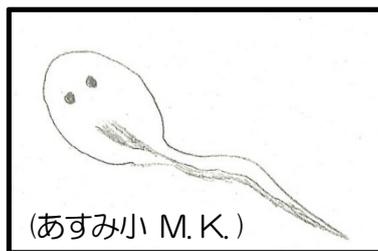
(大椎小 名無しさん。。残念！)  
 ○やっぱり大漁は偉い！？  
 珍しい生物を捕まえたり、別グループより沢山つかまえたなら誇らしい！捕まえ方の上手さももちろん、生息場所を熟知している証拠でしょう。

### ・レギュラーキャラと、レアキャラ。

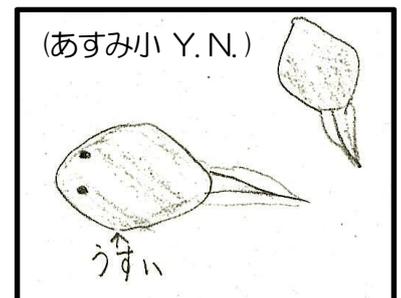
#### ◎レギュラーキャラ

の代表は。。。オタマジャクシとカエル！

毎年前半に最も名前があがり、関心をあつめる生物は、何と言ってもオタマジャクシとカエル！観察されるカエルは3種類。それらのオタマジャクシにも微妙な違いがあり、そんなところに気付いた例です。恐らく、左はニホンアマガエル、右はシュレーゲルアオガエルではない

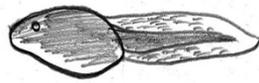
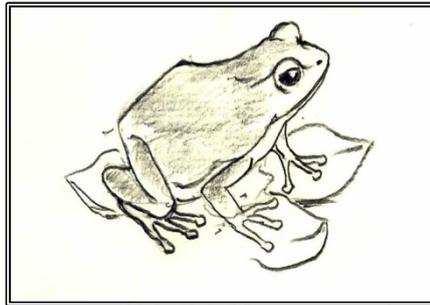


○おたまじゃくし  
 普通より全体が大きいおたまじゃくし。  
 ※尾が頂部までのびて描かれているのが特徴的！



○ひらじゃくし  
 茶色でうすい。普通のおたまじゃくしより、ひし形にちかい。

かと思われます。次回のため、ここで観察されるカエルとそれらのおたまじゃくしについて、記載しておきます。



○ニホンアカガエル

カエルは3.5~8cm  
赤っぽい体、目の後ろの黒斑、足のシマシマが特徴。  
おたまじゃくしは4cm位。色は黒っぽく、背中に一對の黒い斑紋がある。

○シュレーゲルアオガエル

カエルは3~6cm  
背部から頭体全体が明るい黄緑色、お腹がクリーム色、金色でつぶらな目、指先に大きな吸盤が特徴。  
おたまじゃくしは5cm位。色は明るい茶色。ぷっくりとしたふくよかな胴と、まだら模様の尾が特徴。

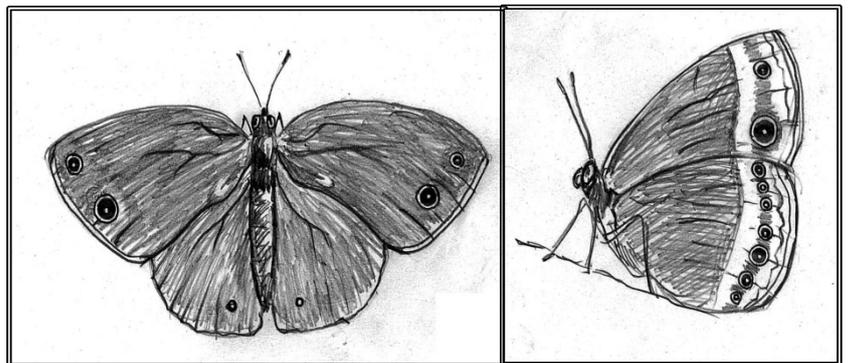
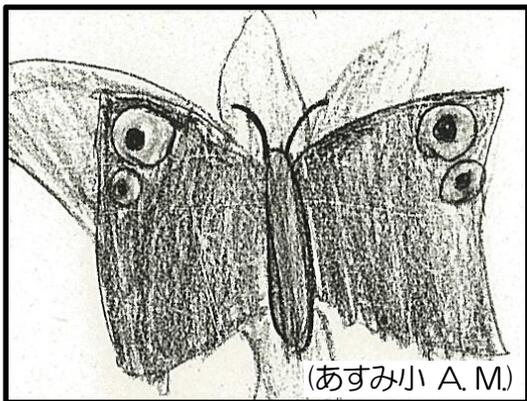
○ニホンアマガエル

カエルは3~5cm  
背から頭にかけて緑色、お腹は白っぽい。鼻孔から目の後ろにかけて黒線が通る。環境によって、灰色や黄色に色を変え、体に斑模様が浮き出ることもある。水辺からかなり離れた野原で観ることも有る。  
おたまじゃくしは5cm位。黄土色に近い明るい色。尾は厚みがあり、上端は胴頂部まで及び。上から見た胴は四角っぽく、目が両端に開いて配置。

◎レアキャラ

いくつかあれど。。。一瞬飛来した蝶を正確に記述！  
コジャノメ蝶

多くの子たちが田んぼの中の生物に夢中になっている中、時折田んぼに飛来する一見地味な蝶の特徴を、とても正確に記述した例がありました。一瞬の出来事かと思われませんが、驚くべ観察眼ですね。



(あすみ小 A.M.)

○コジャノメチョウ。。。のつもり。 画・赤シャツ親父

○黄色印の安全マークチョウ

黒っぽいチョウ。はねの上のはじっこらへんに黄色い点点が2つずつ、大きいのと小さいのとあった。大きさは、モンシロチョウくらい。

【終わりに & 近況】

またまた、ほんの一部のご紹介になりましたが、まさに子どもたちの閃きと、表現の素晴らしさに驚くばかりですね。最後になりましたが、小学校田んぼは、数々の苦難乗り越え、しっかりと、たわわに実らんとしております！ 来るべく稲刈りが楽しみですよ！



小学校田んぼの全景・撮影8月31日



# 里山たんけんレポート

## 第235回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2019年8月4日(日) 晴

早々キイトンボが畔の土手から田んぼへ消えたと思ったら周辺にも鮮やかな黄色を輝かせて現れてくれました。下流部へ向かう路ではシオカラトンボやオオシオカラトンボ、ノシメトンボ、マユタテアカネなどが多いようでした。

谷津向かいの土水路数カ所ではたま網を入れて生きものを探ってみました。手入れがされていなくて枝葉が覆い被さり一見生きものは少なそうなところですが、案の定、生きものは少なく魚はメダカ2、ドジョウが1のみ、スジエビが多く、ヌカエビと思われるもの1、アメリカザリガニ数匹でした。

虫ではヒメゲンゴロウ1、オニヤンマ、ヤマサナエのヤゴ数匹と不明のヤゴが3匹捕まりました。

このあたりはイノシシのテリトリーでそこらじゅう掘り返されているので引き返しました。戻ってきた林縁ではアカボシゴマダラが飛び、田んぼではオオイトトンボが稲の株元を飛んでいました。

参加9名(大人5名、小学生2名、幼児2名 報告・写真 網代春男)



## 第238回 下大和田 YPP「かかし作り」

2019年8月10日(土) 晴

かかし作りに先立ち先ずは恒例の稲の出来高を予測です。みんなそれぞれ任意の5株の稲穂の数を数え、任意の5本の穂についている籾の数をカウントしました。その平均値に総株数を掛けて算出しました。ひと株あたりの穂の数は例年より少ないがひと穂についた籾の数は多いということでした。さあ、かかし作りです。山へ入って家族ごとに竹を切り出し運んで来て、枝を落とし、胴と腕に切り分け、服を着せ組んで骨格を作り、頭を作り顔を描き、完成させました。今年は17体ものかかしが出来上がりました。ファミリーごとの写真、全員並んでの写真を撮った後、田んぼに立てました。

参加52名(大人28名、小学生15名、幼児9名。報告 網代春男・写真 田中正彦)



## 里山クラブ 森と水辺の手入れ

2019年8月18日(日) 晴

森と水辺の手入れは林縁土手の草刈りを中心に行いました。

猛暑で陽向にしているとくらくらしそうです。休憩を入れながら刈り終えました。

お昼を挟んで今日はちば環境情報センターの運営委員会を下大和田の山中で行いました。

将来に向けて健全な運営を可能とする方策やマイクロプラスチックの勉強会などについて話会しました。

参加10名(大人7名、小学生1名、幼児2名)

## 小山町 YPP(学校田んぼかかし作り)

2019年8月21日(水)

今年も子どもたちがりんどう広場に来てくれて、学校田んぼの「かかし」を作りました。子どもたちは学校で使っている素敵な縫道具を持参して、器用に、センスよくかかしにお洋服を着せたお顔の形を整えたりしていました。かかしには、一体一体名前がつけられ、全員で記念撮影をしてから各学校の田んぼに立てられました。

子どもたちが一生懸命作ってくれたかかしたちが、学校田んぼ稲を守ってくれることと思います。

参加 大人5名、小学生9名 報告・写真 たんぽぽ



## <谷津田・季節のたより>

### 小山町

- 7月17日 小山でクマゼミの鳴き声。(赤シャツおやじ)  
8月19日 イナゴの大群。(たんぼぼ)  
8月27日 YPP 田んぼ 赤米出穂。(たんぼぼ)

### 下大和田

- 8月5日 コシボソヤンマ生息確認(ヤゴ発見)。(網代)  
8月22日 トチカガミ満開。セミの声はツクツクポウシが優勢になる。(網代)  
8月24日 モズ初高鳴き。(網代)



オモダカの花 撮影 たんぼぼ

### イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト(YPP)のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター(TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

- ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。  
・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。  
・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。  
・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任をお願いします。

### ▼第239回 下大和田 YPP 「コシヒカリ稲刈り」(9月7日)

### ▼第240回 下大和田 YPP 「コシヒカリ脱穀」(9月21日)

- ・稔ったコシヒカリ、農林1号を刈っておだに干します。  
・おだ干しをしたコシヒカリ、農林1号の脱穀(稲から籾を取る作業)をします。

日時: 2019年9月7日(土)9時45分~15時 小雨決行  
2019年9月21日(土)9時45分~14時 前日、当日の天候により延期あり

場所: 千葉市緑区下大和田谷津

集合: 現地 初めて参加する方は駐車場や会場を案内しますので事前に網代(あじろ)090-2301-0413までご連絡ください。

交通: J R 千葉駅 10 番東あるいは中野操車場行き、ちばフラワーバスで中野操車場バス停下車、徒歩5分で現地。<千葉駅発 8:25、8:40 など、所要時間 45 分>料金 540 円

持ち物: 弁当、飲み物、長袖・長ズボンの服装、着替え、帽子、軍手、敷物など。  
(稲刈りは田んぼ用長靴)

参加費: ちば環境情報センター会員 300 円、一般 500 円(小学生未満無料)、米作り年間参加は別途済み。

主催: ちば環境情報センター 共催 ちば・谷津田フォーラム

### ▼里山くらぶ 森と水辺の手入れ

林内の下刈りや倒木の整理、畔や小川回りの草刈りをします。

日時: 2019年9月15日(日)9時45分~12時 雨天中止

場所: 千葉市緑区下大和田谷津 交通: (同上)

集合: 現地。初めての方はご連絡ください。(同上)

持ち物: 弁当、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴、軍手、帽子、敷物

主催: ちば環境情報センター

### ▼第237回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い

引き続きトンボの調査を兼ねて行います。

日時: 2019年10月6日(日)9時45分~12時 雨天決行。

場所: 千葉市緑区下大和田谷津 交通: (同上)

集合: 現地 初めて参加の方はご連絡ください。(同上)

持ち物: 筆記用具、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、あれば双眼鏡、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当、敷物。

参加費: 100 円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター、ちば・谷津田フォーラム

### ▼第178回・179回 小山町 YPP「コシヒカリの稲刈り」

収穫の第一歩としてコシヒカリの稲刈りをします。

日時: 2019年9月16日(祝)、23日(祝) 10時~ ☆小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴(長めのもの)、帽子、軍手、敷物。

参加費: 100 円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター



赤米の穂 撮影 たんぼぼ

■編集後記 8月に入ると、一気に夏全開! 出足の遅れが心配された稲たちは猛烈な勢いで育ってくれています! 下大和田・小山、何れにもかかしが配備され、実りの秋に向けてラストスパートです!! (赤シャツおやじ)